

## ①原著論文

1. Tateishi Y, Furuya M, Kondo F, Torii I, Nojiri K, Tanaka Y, Umeda S, Okudela K, Inayama Y, Endo I and Ohashi K. Hepatocyte nuclear factor-1 alpha inactivated hepatocellular adenomas in patient with congenital absence of the portal vein: a case report. *Pathol Int*, **63**: 358-363, 2013.
2. Okudela K, Woo T, Mitsui H, Suzuki T, Tajiri M, Sakuma Y, Miyagi Y, Tateishi Y, Umeda S, Masuda M and Ohashi K. Downregulation of ALDH1A1 expression in non-small cell lung carcinomas--its clinicopathologic and biological significance. *Int J Clin Exp Pathol*, **6**: 1-12, 2013.
3. Okudela K, Mitsui H, Suzuki T, Woo T, Tateishi Y, Umeda S, Saito Y, Tajiri M, Masuda M and Ohashi K. Expression of HDAC9 in lung cancer - potential role in lung carcinogenesis. *Int J Clin Exp Pathol*, **7**: 213-220, 2013.
4. Okudela K. An association between nuclear morphology and immunohistochemical expression of p53 and p16INK4A in lung cancer cells. *Med Mol Morphol*, sep, 14, 2013
5. Nishii T, Tanabe M, Tanaka R, Matsuzawa T, Okudela K, Nozawa A, Nakatani Y and Furuya M. Unique mutation, accelerated mTOR signaling and angiogenesis in the pulmonary cysts of Birt-Hogg-Dube syndrome. *Pathol Int*, **63**: 45-55, 2013.
6. Arai H, Okudela K, Oshiro H, Komitsu N, Mitsui H, Nishii T, Tsuboi M, Nozawa A, Noishiki Y, Ohashi K, Inui K and Masuda M. Elevated microsatellite alterations at selected tetra-nucleotide (EMAST) in non-small cell lung cancers--a potential determinant of susceptibility to multiple malignancies. *Int J Clin Exp Pathol*, **6**: 395-410, 2013.
7. Hanaoka M, Hashimoto M, Ohashi K et al: Retroperitoneal cavernous hemangoma resected by a pylorus preserving pancreaticoduodenectomy. *World J Gastroenterol*. 2013, 19:4624-9.
8. Mise K, Ubara Y, Ohashi K et al: Long term follow up of congenital thrombotic thrombocytopenic purpura (Upshaw-Schulman syndrome) on hemodialysis for 19 years: a case report. *BMC Nephrol*. 2013, 14:156.
9. Sumida K, Nakamura M, Ohashi K et al: Cinacalcet upregulates calcium-sensing receptors of parathyroid glands in hemodialysis patients. *Am J Nephrol*. 2013, 37:405-12.
10. Sumida K, Ubara Y, Ohashi K et al. Recurrent proliferative glomerulonephritis with monoclonal IgG deposits of IgG2λ subtype in a transplanted kidney: a case report. *Am J Kidney Dis*. 2013, 62:587-90.
11. Tamiya H, Miyakawa M, Ohashi K et al: A large functioning parathyroid cyst in a patient with multiple endocrine neoplasia type 1. *Endocr J*. 2013, 60:709-14.
12. Imafuku A, Suwabe T, Ohashi K et al: Castleman's disease accompanied by hypolipidemic cerebral hemorrhage and nephrosclerosis. *Intern Med*. 2013, 52:1611-6.

13. Tsuchiya Y, Ubara Y, Ohashi K et al: AA-amyloidosis in autosomal dominant polycystic kidney disease caused by chronic cyst infections lasting for 30 years. Intern Med. 2013, 52:791-4.
14. Nonaka K, Ubara Y, Ohashi K. Clinical and pathological evaluation of hypertensive emergency-related nephropathy. Intern Med. 2013, 52:45-53.
15. Nonaka K, Ubara Y, Ohashi K et al: Intractable membranous lupus nephritis showing selective improvement of subepithelial deposits with tacrolimus therapy: a case report. Clin Nephrol. 2013, 80:140-5.
16. Saito T, Ueno M, Ohashi K, et al: Histological and clinical characteristics of duodenal gastrointestinal stromal tumor as predictors of malignancy. World J Surg Oncol 2013, 11: 202
17. 倉上優一, 関根朗雅, 奥寺康司, 織田恒幸, 萩原恵里, 馬場智尚, 小倉高志: 反復する呼吸器感染を起こした signal transducer and activator of transcription 3 (STAT3) 遺伝子変異を伴う高 IgE 症候群の 1 例. 日本呼吸器学会誌 2(6): 773 -777, 2013
18. 飯塚 敏郎, 菊池 大輔, 山田 晃弘, 山下 聡, 布袋屋 修, 貝瀬 満, 大橋 健一: 深達度診断が難しかった表在食道癌の 1 例. 胃と腸(0536-2180)48 巻 12 号 Page1811-1818(2013. 11)
19. 北嶋 俊寛, 丸井 祐二, 田中 希穂, 大橋 健一, 富川 伸二: 献腎移植後に I 型大動脈解離・肝不全を発症し、ステロイドのみの免疫抑制療法により移植腎廃絶を回避し得た 1 例. 移植(0578-7947)48 巻 1 号 Page53-57(2013. 03)
20. Sakata R, Shimoyamada H, Yanagisawa M, Murakami T, Makiyama K, Nakaigawa N, Inayama Y, Ohashi K, Nagashima Y, Yao M, Kubota Y. Nonfunctioning juxtaglomerular cell tumor. Case Rep Pathol. 2013;2013:973865.

## ②総説

1. 船田信顕、立石陽子: ラボクイズ 病理検査. 検査と技術 41 巻第 7 号 (2013. 7.)
2. 船田信顕、立石陽子: ラボクイズ 病理検査. 検査と技術 41 巻第 12 号 (2013. 11.)
3. 立石陽子、下田忠和: 大腸 SM 癌の取り扱い ; 外科手術の選択基準-ガイドラインに記載されていない転移危険因子. 消化器内視鏡 第 25 巻第 8 号 (2013 年 8 月号) ミニ増大号
4. 立石陽子、比島恒和: 消化管組織病理入門講座 食道:腫瘍性病変. 胃と腸 第 48 巻 第 10 号 p1508-1512 (2013. 9.)
5. 日比谷 孝志, 沼倉 里枝, 大田 泰徳, 辻 正徳, 内田 直之, 谷口 修一, 藤井 丈士, 大橋 健一: CPC 解説(第 51 回) 急性骨髄性白血病に対し臍帯血移植後、大腸菌による大腸蜂窩織炎からガス壊疽を合併し死亡した一例. 病理と臨床(0287-3745)31 巻 10 号 Page1121-1128(2013. 10)
6. 筒井 美帆, 大橋 健一: CPC 解説(第 47 回) 消化管穿孔を合併し、治療に難渋した腸管症関連 T 細胞リンパ腫の一例. 病理と臨床(0287-3745)31 巻 6 号 Page665-671(2013. 06)
7. 大橋 健一, 藤井 丈士: CPC 解説(第 43 回) 長期腹膜透析歴を有し、被嚢性腹膜硬化症、

感染症を合併した一例. 病理と臨床(0287-3745)31 巻 2 号 Page189-195(2013. 02)

8. 関根 章成, 乳原 善文, 星野 純一, 住田 圭一, 諏訪部 達也, 早見 典子, 三瀬 広記, 浜之上 哲, 川田 真宏, 今福 礼, 平松 里佳子, 山内 真之, 長谷川 詠子, 澤 直樹, 高市 憲明, 木脇 圭一, 大橋 健一, 藤井 丈士: 管外性病変と尿細管間質性腎炎を高度に認めたループス腎炎の 1 例, 腎炎症例研究(1344-3895)29 巻 Page153-176(2013. 02)

9. 佐藤 朝日, 住田 圭一, 乳原 善文, 丸井 祐二, 諏訪部 達也, 三瀬 広記, 今福 礼, 川田 真宏, 遠藤 彰子, 山野 水紀, 田中 希穂, 平松 里佳子, 山内 真之, 長谷川 詠子, 星野 純一, 澤 直樹, 高市 憲明, 富川 伸二, 黒田 陽子, 大橋 健一, 藤井 丈士: 腎移植後ネフローゼ症候群にて発症した再発性膜性増殖性腎炎(MPGN)の一例. 腎炎症例研究(1344-3895)29 巻 Page92-114(2013. 02)

### ③著書

### ④学会発表

1. Yoko Tateishi, Koji Okudela, Hideaki Mitsui, Shigeaki Umeda, ,Yoko Kojima, Kazuteru Watanabe, Naomi Kawano, Kenichi Ohashi: The potential role of microRNA-31 in submucosal invasive colorectal cancer. 第 72 回日本癌学会学術総会 72nd Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (2013.10.3.)

2. Arai H, Okudela K, Oshiro H, Komitsu N, Mitsui H, Nishii T, Tsuboi M, Nozawa A, Noishiki Y, Ohashi K, Inui K and Masuda M. Elevated microsatellite alterations at selected tetra-nucleotide (EMAST) in non-small cell lung cancers--a potential determinant of susceptibility to multiple malignancies. 15<sup>th</sup> World Conference of Lung Cancer (ISAL 2013). Sydney, 2013, October.

3. 奥寺 康司, 立石 陽子, 梅田 茂明, 三井 秀昭, 鈴木 健久, 禹 哲漢, 田尻 道彦, 大橋 健一: 肺癌の発生・進展における KRAS-miR-31 経路の意義. 日本病理学会誌(0300-9181)102 巻 1 号 Page342(2013. 04)

4. 奥寺康司, 立石陽子, 梅田茂明, 禹哲漢, 田尻道彦, 大橋健一: 肺発がんにおける miR-31 の役割. 日本癌学会総会. 神奈川県, 2013 年 10 月

26. 2013288644

5. 立石陽子、奥寺康司、梅田茂明、三井秀昭、鈴木健久、河野尚美、大橋健一: 早期大腸癌における microRNA-31 発現の検討. 第 102 回日本病理学会総会 (2013. 6. 8)

立石 陽子, 古屋 充子, 山中 正二, 稲山 嘉明, 大橋 健一: 先天性門脈欠損症を背景として多発肝腫瘍が認められた 1 例. 神奈川医学会雑誌(0285-0680)40 巻 1 号 Page93(2013. 03)

6. 梅田 茂明, 奥寺 康司, 立石 陽子, 三井 英明, 鈴木 健久, 大橋 健一: 変異型 EGFR 遺伝子の導入によって誘導される下流遺伝子の分子基盤について. 日本病理学会誌(0300-9181)102 巻 1 号 Page419(2013. 04)

7. 大橋 健一：食道に発生する唾液腺型腫瘍の病理. 日本病理学会会誌(0300-9181)102 巻 1 号 Page278(2013. 04)
8. 大橋 健一：剖検症例のまとめ方 過去の剖検症例問題の解説. 日本病理学会会誌(0300-9181)102 巻 1 号 Page259(2013. 04)
9. 大橋 健一：病理学会の取り組みについて. 日本病理学会会誌(0300-9181)102 巻 1 号 Page249(2013. 04)
10. 長嶋 洋治, 青木 一郎, 大橋 健一, 石ヶ坪 良明, 梅村 敏, 寺内 康夫, 前田 慎, 田中 章景, 益田 宗孝, 遠藤 格, 後藤 英司: 横浜市立大学における学生症例検討会(学生 CPC)の経験. 医学教育(0386-9644)44 巻 Suppl. Page150(2013. 07)
11. 西尾 由紀子, 尾崎 由実, 本野 紀夫, 三田 和博, 長谷川 哲哉, 佐藤 美紀子, 沼崎 令子, 山中 正二, 稲山 嘉明, 大橋 健一: 子宮頸部中腎性腺癌の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌(0387-1193)52 巻 Suppl. 1 Page332(2013. 05)
12. 三宅 暁夫, 長濱 清隆, 筒井 美帆, 松村 舞依, 宇高 直子, 山中 正二, 稲山 嘉明, 大橋 健一, 青木 一郎: 剖検により明らかにされた骨髄腫関連単クローン性免疫グロブリン沈着症の一例. 日本病理学会会誌(0300-9181)102 巻 1 号 Page480(2013. 04)
13. 筒井 美帆, 松村 舞依, 三宅 暁夫, 宇高 直子, 古屋 充子, 山中 正二, 大橋 健一, 稲山 嘉明: 卵巣原発の腺扁平上皮癌の一例. 日本病理学会会誌(0300-9181)102 巻 1 号 Page379(2013. 04)
14. 笠原康平 田中邦哉 野尻和典 武田和永 上田倫夫 松山隆生 谷口浩一 熊本宜文 森隆太郎 立石陽子 近藤福雄 遠藤格: 先天性門脈血栓症に合併した肝細胞腺腫の切除経験. 第49回日本肝癌研究会 (2013. 7. 11)
15. 長尾知子, 藤原純子, 門馬久美子, 三浦昭順, 加藤剛, 出江洋介, 高橋雅恵, 比島恒和, 立石陽子: SM 深部浸潤部で B3 血管を認めた 0-IIc 病変の 1 例. 第 60 回食道色素研究会 (2013. 7. 12)
16. 渡辺一輝, 大田貢由, 鈴木紳祐, 諏訪雄亮, 渡辺 純, 石部敦士, 田中邦哉, 藤井正一, 市川靖史, 立石陽子, 遠藤格: 側方郭清症例からみた進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の意義. 第 68 回日本消化器外科学会総会 (2013. 7.)
17. 上野 智敏, 星野 純一, 菊地 晃一, 早見 典子, 諏訪部 達也, 住田 圭一, 三瀬 広記, 葉末 亮, 濱之上 哲, 川田 真宏, 今福 礼, 山内 真之, 平松 里佳子, 長谷川 詠子, 澤 直樹, 高市 憲明, 大橋 健一, 藤井 隆志, 乳原 善文: 臨床的組織学的寛解を勝ち得た軽鎖沈着症の一例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1092(2013. 08)
18. 加瀬田 幸司, 丸井 祐二, 田中 希穂, 早見 典子, 星野 純一, 諏訪部 達也, 住田 圭一, 三瀬 広記, 今福 礼, 川田 真宏, 平松 里佳子, 山内 真之, 長谷川 詠子, 澤 直樹, 高市 憲明, 富川 伸二, 乳原 善文, 大橋 健一, 藤井 隆志: 生体腎移植を施行した小児発症難治性 ANCA 関連血管炎の 1 例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1079(2013. 08)

19. 江坂 真理子, 乳原 善文, 早見 典子, 住田 圭一, 三瀬 広記, 濱之上 哲, 諏訪部 達也, 木脇 圭一, 大橋 健一: AA アミロイドーシスによる腎障害合併クローン病に対し infliximab が奏功した 1 例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1073(2013. 08)
20. 菊地 晃一, 早見 典子, 諏訪部 達也, 住田 圭一, 三瀬 広記, 葉末 亮, 上野 智敏, 川田 真宏, 山内 真之, 平松 里佳子, 長谷川 詠子, 星野 純一, 澤 直樹, 高市 憲明, 大橋 健一, 藤井 隆志, 乳原 善文: メルファラン-デキサメタゾン併用療法にて良好な経過をとっている重鎖軽鎖(AHL)型原発性アミロイドーシス 1 例, 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1073(2013. 08)
21. 今福 礼(虎の門病院腎センター), 乳原 善文, 川田 真宏, 澤 直樹, 住田 圭一, 諏訪部 達也, 長谷川 詠子, 早見 典子, 平松 里佳子, 星野 純一, 三瀬 広記, 山内 真之, 高市 憲明, 藤井 丈士, 大橋 健一: 心筋生検で AL アミロイドーシスが疑われたが組織の再評価で老人性アミロイドーシスの診断に至った一例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1072(2013. 08)
22. 川田 真宏, 乳原 善文, 澤 直樹, 星野 純一, 諏訪部 達也, 早見 典子, 長谷川 詠子, 山内 真之, 平松 里佳子, 住田 圭一, 濱之上 哲, 今福 礼, 三瀬 広記, 葉末 亮, 菊地 晃一, 上野 智敏, 高市 憲明, 大橋 健一, 藤井 丈士: 治療予後良好であった C3 glomerulonephritis の一例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1065(2013. 08)
23. 菊野 庄太, 三瀬 広記, 星野 純一, 住田 圭一, 早見 典子, 諏訪部 達也, 山内 真之, 平松 里佳子, 長谷川 詠子, 澤 直樹, 高市 憲明, 大橋 健一, 藤井 隆志, 堀江 孝一郎, 松井 利浩, 乳原 善文: エンドキサンパルスの併用により改善が得られた壊死性糸球体腎炎を合併した Granulomatosis with polyangiitis の一例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1061(2013. 08)
24. 飯島 崇, 住田 圭一, 三瀬 広記, 濱之上 哲, 上野 智敏, 菊地 晃一, 葉末 亮, 川田 真宏, 山内 真之, 早見 典子, 諏訪部 達也, 星野 純一, 高市 憲明, 大橋 健一, 藤井 丈士, 和氣 敦, 乳原 善文: 悪性リンパ腫に対する造血幹細胞移植後に発症した非典型的膜性腎症の一例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1058(2013. 08)
25. 葉末 亮, 乳原 善文, 諏訪部 達也, 星野 純一, 住田 圭一, 三瀬 広記, 菊地 晃一, 上野 智敏, 今福 礼, 川田 真宏, 濱之上 哲, 早見 典子, 平松 里佳子, 山内 真之, 長谷川 詠子, 澤 直樹, 高市 憲明, 大橋 健一, 藤井 丈士: ステロイドと免疫抑制剤により良好な経過をたどった若年発症 immunotactoid glomerulopathy の一例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1055(2013. 08)
26. 関根 章成, 濱之上 哲, 乳原 善文, 星野 純一, 諏訪部 達也, 住田 圭一, 三瀬 広記, 早見 典子, 川田 真宏, 今福 礼, 平松 里佳子, 山内 真之, 長谷川 詠子, 澤 直樹, 吉本 豊毅, 藤井 丈士, 大橋 健一, 高市 憲明: 巨大肝嚢胞により肝不全死に至った多発性嚢胞腎の 1 男性例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1052(2013. 08)
27. 土谷 良樹, 今瀬 敦子, 清水 義久, 並木 眞生, 乳原 善文, 高市 憲明, 木脇 圭一,

大橋 健一, 藤井 丈士: 糸球体内にフィブリノイド壊死像を認めた高血圧性緊急症の一例. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 6 号 Page1037(2013. 08)

28. 三瀬 広記, 星野 純一, 乳原 善文, 藤井 丈士, 大橋 健一, 高市 憲明  
糖尿病性腎症における eGFR・尿蛋白量の腎予後因子としての意義. 日本透析医学会雑誌  
(1340-3451)46 巻 Suppl. 1 Page670(2013. 05)

29. 水島 大一, 秋本 和憲, 長嶋 洋治, 最上 多恵, 佐藤 美紀子, 宮城 悦子, 亀田 陽一, 稲山 嘉明, 大橋 健一, 青木 一郎, 大野 茂男, 平原 史樹: 子宮頸癌における atypical protein kinase C  $\lambda/\iota$  の核局在と過剰発現は予後と相関する(The nuclear localization and overexpression of atypical protein kinase C in cervical cancer correlate with prognosis). 日本癌学会総会記事(0546-0476)71 回 Page558-559(2012. 08)

30. 今福 礼, 乳原 善文, 長谷川 詠子, 三瀬 広記, 川田 真宏, 平松 里佳子, 山内 真之, 住田 圭一, 早見 典子, 諏訪部 達也, 星野 純一, 澤 直樹, 高市 憲明, 木脇 圭一, 大橋 健一, 藤井 丈士: 腎生検で遺伝性腎炎と診断された 55 例の臨床病理学的特徴. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 3 号 Page376(2013. 04)

31. 三瀬 広記, 星野 純一, 乳原 善文, 住田 圭一, 平松 里佳子, 長谷川 詠子, 山内 真之, 早見 典子, 諏訪部 達也, 澤 直樹, 藤井 丈士, 大橋 健一, 高市 憲明: 腎生検で診断された糖尿病性腎症の長期腎予後の検討. 日本腎臓学会誌(0385-2385)55 巻 3 号 Page312(2013. 04)

32. Ohashi K: Pathology of amyloidosis- Differential diagnosis and relationship with recent progress of treatment. The 8th Asia Pacific IAP Congress, Busan Korea (2013. 0905)

#### ⑤研究助成金

大橋健一(代表), 奥寺康司: 分子異常に基づいた肺腺がんの分類と浸潤・転移機構の解明  
基盤研究(C)(2012-2014年)(当年度 1,400,000円)

奥寺康司(代表): 異型性の分子基盤の追求(KRAS 下流分子のプロテオーム解析から). 基盤研究(C)(2011-2013年)(当年度 1,800,000円)

禹 哲漢(代表): RAS 変異・高増殖活性型肺腺癌の分子病理学的特性(S100 蛋白質の関与)  
基盤研究(C)(2013-2015年)(当年度 1,400,000円)

奥寺康司(分担): リンパ管と漿膜の機能形態学. 基盤研究(C)(2012-2014年)(当年度 100,000円)

梅田茂明(代表): 肺腺癌の悪性化に関わるケモカインネットワークの解明、基盤研究  
(B)(2013-2015年)(当年度 1,500,000円)

大橋健一(代表): 糖尿病性腎硬化症進展における Advanced glycation end products, 喫煙習慣の影響, 喫煙科学研究財団研究助成金(2011-14年)(当年度 2,000,000円)

奥寺康司(代表): 肺癌を伴う多重癌の発生機構—遺伝的不安定性の関与—, 喫煙科学研究財団研究助成金(2013-15年)(当年度 2,000,000円)

大橋健一(代表)：高速凍結技術の医療応用への可能性の検討に関する調査開発、一般財団法人機械システム振興協会(1,200,000円)

大橋健一(代表)：ヒト悪性腫瘍(がん)の病理学的、分子病理学的研究、汐田病院との共同研究(1,800,000円)

大橋健一(代表)：先端医科学研究センターにおける医療応用を目指した開発型研究、戦略研究推進費(先端医科学の推進研究)(600,000円)

⑥その他

1. 立石陽子：Case presentation of early esophageal cancer - A

JICA 国際協力機構「第8回上級早期胃癌診断コース」における病理解説(2013.2.5.)

2. 立石陽子：第8回 GUT Challenge Meeting ミニレクチャー「大腸鋸歯状病変の病理」(2013.3.2.)

3. 大橋健一：アミロイドーシスの病理診断と治療. 第7回静岡血液難病研究会 特別講演(2013.02.09)